

子ども防災

(第10号)

プロジェクト ニュース

発行：鶴見橋中学校

発行日：2013.9.27



全校防災集会を終えて

9月9日には防災集会が開かれ、今年8月に東北を訪れた生徒会・子防プロメンバーの代表3名が全校生徒に向けてその報告を行いました。3人は語り部を務めてくれた東北の方々の震災当時のお話を写真を交えながら発表してくれました。発表の最後には、語り部さんたちの中から南三陸町でガイドをしてくださった高校生の佐藤さんとおらが大槌夢広場の代表・臼沢（うすざわ）さんのお話を実際の映像で聞いてもらいました。お二人とも地震によってかけがえない大切な人を失い、その大切な人を普段からもっと大事にしておけばよかったと後悔されています。お二人がお話してくださった、「大切な人を『今』大切にする」、「思ったことはすぐ言葉に、すぐに行動に移す」という言葉は鶴中のみんなにとってもたいへん心に残るものであったと思います。

取り組みのあとには、全校生徒のみなさんに発表についての感想を書いてもらいました。どの学年のみんなも普段の取り組み以上に真剣に感想を書いてくれたようです。みんなの感想の中には「これから家族や友だちなど、自分にとって大切な人たちに、日ごろから『ありがとう』と伝えたい」や「『今』大

切な人をもっと大切にしたい」という自分たちの日常を見つめなおそうとするものがたくさん見られました。さて、そんな有意義な時間となった防災集会から約2週間がたちます。あれからみんなの家族や友だちへの態度は変わりましたか？毎日、「ありがとう」を伝えていますか？「今」を大切にしていますか？今回、鶴中のみんなのためにたくさんのメッセージを残してくれた東北の方々のためにも、ぜひ今一度「普段のことから真剣に」という合言葉を思い返し、実践してもらいたいと思います。



★子防プロ★

9月30日（月）

放課後4時より活動します！

今回は防災標語を選別し、学校掲示をする大切なお仕事です！これまで活動に参加していなかった人も大歓迎！（＾＾）この機会にぜひ参加してみてください！

新メンバー募集中！！

避難所訓練合宿にむけて

十一月十五日（金）～十六日（土）には、避難所訓練合宿が行われます。この西成区で地震や台風などの自然災害が起こったとき、この鶴見橋中学校は地域の方々のために避難所となります。もし本当に鶴中が避難所となったとき、中学生のみんなにはいったい何ができるのでしょうか。『もしも』のときを想定して、子防プロメンバーを中心に防災訓練合宿に取り組みましよう。自分たちで炭に火をおこして食事を作ったり、体育館で一夜を過ごしたり。中学校が避難所になったときに実践できる貴重な経験が得られることと思います。参加を考えている人、なにか質問のある人は、1年木下先生、2年大西先生、3年小野寺先生まで。

募集した防災標語を少し紹介します。

- ・ 防災で多くの命助けよう
 - ・ 「ありがとう」思ったらすぐ伝えよう
 - ・ 東北で学んだことを語り継ぐ
 - ・ 生きるため避難訓練ちゃんとしよう
 - ・ 防災は命を救う第一歩
 - ・ いのちをつなげよう、つながろう
 - ・ 自分の命がまず優先
 - ・ 津波来て だれかを待たず まず逃げよう
 - ・ 絶対に あたりまえのこと 大切に
- 素晴らしい標語をたくさん考えてくれました！
子防プロの選んだ標語を学校に掲示します！